

失敗しない**公共FM**推進のためには！

日時: 2015年2月19日(木)

場所: タワーホール船堀 瑞雲の間

首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース 李 祥準

公共施設の**維持管理**から**マネジメント**へ

かつての維持管理のイメージ

現状から悪くしないことが目標

その都度対応(受動的・情報は一過性)

費用支出は必要最小限に

マネジメントのイメージ

あるべき姿を描き、目標を明確に設定する

計画的行動(能動的・情報の蓄積と活用)

費用対効果を重視



私たちの目指すマネジメントとは経営的かつ全庁的な視点から財政健全化、施設性能向上、コスト及び数量の適正化、公共サービスレベルの向上などのために行う全ての活動

ファシリティマネジメント(FM)とは！

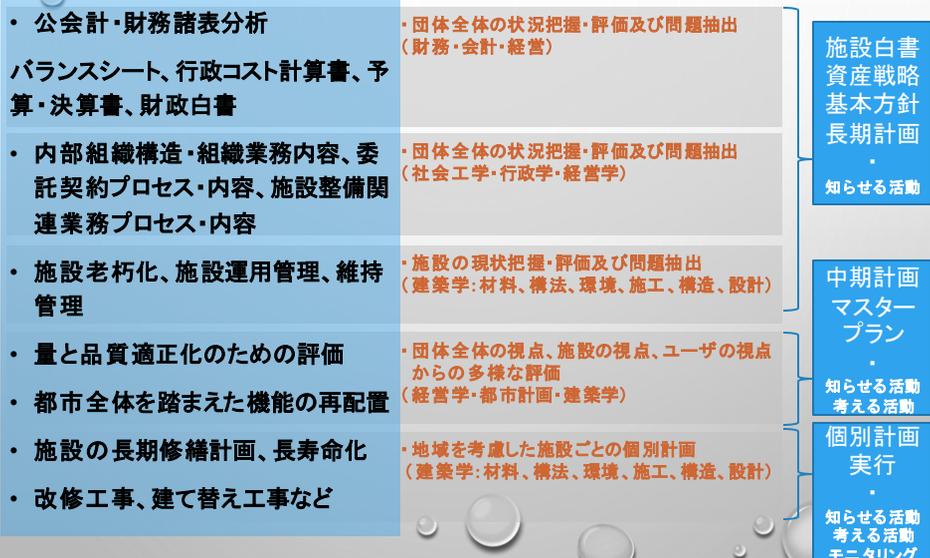
- ・企業・団体等が組織活動のために施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動
- ・土地、建物、設備などを最適な状況で保有、賃借、使用、運営、維持する経営活動

(from JFMA)

- ・ PFM(PUBLIC FACILITY MANAGEMENT) : 公共施設マネジメント
- ・ CRE戦略(CORPORATE REAL ESTATE STRATEGY)
- ・ PRE戦略(PUBLIC REAL ESTATE STRATEGY)

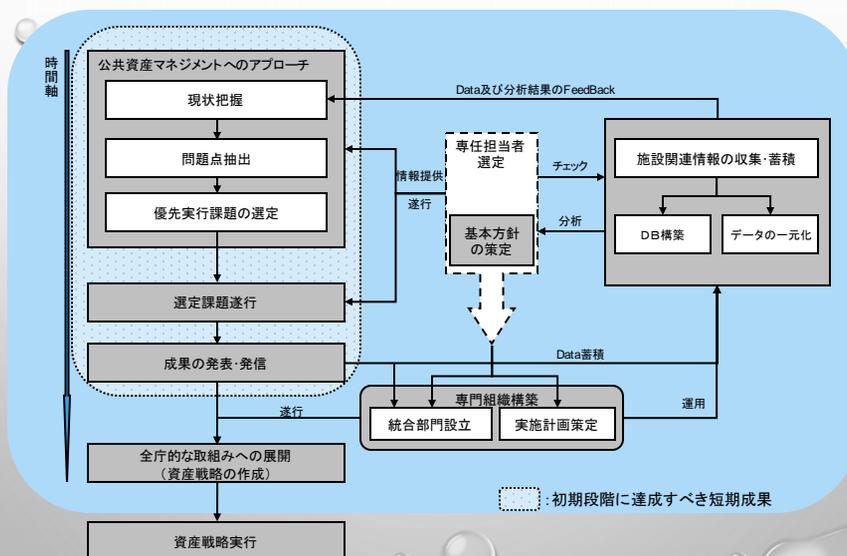
: 公共不動産について公共・公益的な目的を踏まえつつ、経済の活性化及び財政健全化を念頭に、適切かつ効率的な管理・運用を推進しようとする考え方

私の活動



実践のためには

公共FMの推進プロセス



調べる。(自治体のあらゆる状況)

- データの蓄積及び分析
- 情報の一元化
- 自治体の状況把握
- 全施設の状況把握



- データは共有し、分析結果を活用する。
- 自治体の現状は財政・人口・資産・組織を同時に把握する。
- 全施設の現状は定期的に把握できる仕組み構築が重要。(ハードとソフト)

知らせる。(内部職員と住民に)

- 白書の作成
- パブリックコメント
- 説明会の開催
- 市民シンポジウム
- 情報の公開
- 見える化



- しっかりとしたデータ整理と分析を基にどのような質問にも回答できるように準備すること。
- 時間をかけて繰り返し行うこと。
- オープンデータ化、地図情報との連動
- 納税者としての意識を培養。

考える。(行政と住民と一緒に)

- 市民ワークショップ



- 限られた財源で公共サービスレベルを維持または向上させるため市民と一緒に案を考える。

連携する。(他自治体と)



- 一自治体できないことを広域で考える。
 - 一自治体でできることも広域で考える。
- (一部事務組合、広域連合、合併・・・)

行政が提供するすべての公共サービスを対象とする。
聖域の無い